

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べると、販売量は今月の方が良く、景気は確実に上向いてきている。新型コロナウイルス禍以前の2019年度と比較しても、売上は7割程度まで改善しており、明るい兆しである。観光業は、新規感染者が減少傾向になると上向く傾向があるが、10月中旬からの新規感染者数の激減に呼応するように、急激に来客数が増えている。
	◎	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しているなかで、各地で地域版Go Toの開催やGo To Eatキャンペーンの再開等あり、人流が増加してきている。年末年始まで人流が続くことを期待して、より強い感染対策を実行しながら、客を迎えたい。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルスの影響による厳しさは残っている。ただし、ワクチン接種が進み客足が戻ってきている。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・来客数は徐々に回復傾向にあり、緩やかなペースとなっている。ただし、回復傾向と売上はまだ連動していない。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比でみると、売上は99.6%、来客数は92.7%であり、売上は前年に近づいているものの、リモートワークもあり、来客数は戻っていない。また、新型コロナウイルス前と比べると、まだ、戻りは小さい。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、来客数が増えてきている。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・10月初めは暑い日が多かったため、秋冬物の動きが鈍かったが、新型コロナウイルス新規感染者減少に伴って、客足が増え始めている。
	○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車販売は、やや需要が伸びている。その他の動きについては、余り良いとはいえない。
	○	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い、来客数は少しずつ増えてきている。ただし、増加幅はまだ小さく、消費を押し上げるまでには至らない。
	○	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・少しずつ新型コロナウイルス以前に戻りつつあるが、警戒と自粛慣れで、来客数はすぐには戻っていない。ただし、アルコール等の注文が戻ってきており、客単価は良い。まだ遠出の旅行には行けず、近場の飲食店でゼイタクするような感じである。客層は、以前のような女性グループよりは週末の家族連れが多い。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言や時短要請が全て解除されたが、いまだ動きが鈍いように感じる。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・事業所給食では、幼稚園や保育園部門で、新型コロナウイルスに対する懸念から欠席する園児の食数減少分が減っており、全体でも通常に回復してきている。一方、レストラン部門は、緊急事態宣言解除に伴い休業していた店舗が一斉に営業再開したものの、利用客の動きは慎重で、顧客を取り込み切れていない店舗が多い。特に、平日の客の動きはまだ鈍い。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・10月に入り、週末はレジャー客、平日はビジネス客の宿泊が増えている。また、当県独自の宿泊割引が再開したことにより、宿泊客が増加している。
	○	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・当県独自のキャンペーンが開始され、県内宿泊が増え出したため、やや良くなっている。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者の激減、緊急事態宣言の解除、飲食店への時短制限等の解除により、かなり人の流れが変わってきている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除で、少し動きが見えている。Go Toキャンペーンが決まり、加速することを願っている。
○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、明らかに店舗への来客数が増加し、徐々にではあるが、消費は回復してきている。	

○	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、緊急事態宣言解除を受け、個人客も少しずつ増加している。学生の団体は、予定していた学校に加えて延期していた学校も来園する等、前年を上回るペースで来客がある。
○	ゴルフ練習場 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、9月は外出を控えたせいか街に散歩く人がいなかったが、10月に入り、平常を取り戻しつつある。
○	設計事務所(所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波のピークから徐々に落ち着いてきたため、少しずつ通常の経済活動が再開されている。
□	一般小売店〔精肉〕 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者がかなり減ってきて、制限が緩和されてきている。飲食店への影響はまだ分からないが、大型店にも少し客が戻ってきたようである。一般個店は全然呼びがない状況である。イベントもなく客寄せができないので、景気の上向きは感じられない。
□	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向にあるが、来客数、売上額共に宣言中と大きな変化がなく、厳しい状況が続いている。
□	スーパー(商品部担当)	単価の動き	・緊急事態宣言解除後、人の動きはあるものの来客数は伸びず、客単価も変動がない。観光地の店舗では多少の来客数増加はあるが、回復までには至らない。
□	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・前年は新型コロナウイルス禍のなかでも、Go To Travelキャンペーンがあったからか、比べると今年は観光客が意外と少ない。
□	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてからほぼ1か月たつが、人の流れはその前とほとんど変わっていない。変わったのは、近場にある居酒屋、飲食店等の業種だけで、当店のような婦人衣料、特に、高齢者対象の店では、ほとんど客の流れがない状態がずっと変わっていない。
□	家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・前年は新型コロナウイルス対策の商材準備等で、空気清浄機、パソコン、通信小物、消毒関連等の販売が好調だったが、今年は前年比70%となっている。
□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・国内の自動車メーカーは、半導体不足等の影響で、約40%ダウンの生産量となっている。相変わらず、納車待ちの状況が続いているが、客からの注文はそこそこある。怖いのは、納期が4～5か月遅れで常態化することである。
□	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・今月に入って緊急事態宣言が解除されたので、これからは良くなるだろう。今までは、商店街や小さな飲食店等、大きなダメージを受けており、本当に何十年かぶりの来客数の少なさである。ショールームやサービス工場への来客数が極端に落ちている。
□	住関連専門店 (店長)	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者はかなり減っているものの、飲食業や観光関連業者が上向いていない。このまま終息すれば上向きになるのではないか。
□	その他専門店 〔靴小売業〕 (経営者)	来客数の動き	・全体的には変わらない。緊急事態宣言は解除されたが、生活スタイルは余り変化がない。一部では人の動きにやや変化が出てきている。一方、仕入先のメーカーや海外生産基地の状況がかなり厳しく、発注商材の入荷見通しがつかない。仕入価格、物量費の上昇等が把握できない。
□	一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・同業者同士の会話でも良くなってきたという声は全く聞かない。取引業者からも明るい話はない。
□	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・宿泊は、個人客を中心にやや盛り返してきているが、早々と中止になった大会予約が復活するわけではなく、団体予約は総じて厳しい。料飲部門も、宴会等の問合せは低調で、こちらも個人客頼みとなっている。
□	タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼の動きが良かったので、前年同月比20%の増収である。ただし、2年前の同月比では32%の減少となっている。

	□	通信会社（局長）	来客数の動き	・来客数、販売量共に横ばいとなっているが、客の購入意欲は向上しているように感じる。
	□	競輪場（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しているものの、いまだ来場者の動向は鈍い。
	□	美容室（経営者）	来客数の動き	・衆議院議員選挙の月は、消費者の購買意欲が落ちるアンマリーがある。
	□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種率が70%を超えてはきたが、景気回復にはもう少し時間が掛かる。
	□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言解除で制限が緩んだとはいえ、いまだに大変厳しい状況で、閉店する店や撤収する居酒屋等がかなり目立っている。一方では、準備のため店を開けようとする居酒屋、スナック等もあるが、まだ街の活気はみられない。
	□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・大型案件がことごとく見送りが待機状態になっている。新型コロナウイルス禍による事業の停滞により、積極的な投資が滞っている。
	▲	家電量販店（店長）	販売量の動き	・来客数、販売実績共に鈍化している。
	▲	その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・受注がかなり悪くなっている。受注残が前年同月と比べても少なくなっている。
	▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・半導体など部材不足の影響が理由とされているが、売れ筋商材の入荷が少なく、需要にこたえられていない。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大による制限が解除されても、ガソリンを始めとした諸物価の高騰が、顧客の購買心理を押し下げている。自動車整備に至っては必要最低限の依頼の客が増えている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・建築資材の高騰や流通状況の不安により、販売自体が止まっている。現状が打破できない限り、状況改善は見込めない。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・9月に続き、前月比97%と下がり、前年比でも86%と下がっている。不振商材は販売構成比の大きいエアコンが前年比56%、テレビが同比68%と大きく下がっている。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されても、以前のような利用数が戻ってきていない。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・新型コロナウイルス対策は不公平感があり過ぎて、今後税金を負担したくない。
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除になっても、地方経済は回り出していない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除になっても、景況感は余り変わらない。当社では、売上、契約いづれも順調に伸びている。
	○	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も少なくなったためか、入居率が上がり、入退居の回転も上がっている。清掃や修繕等の受注量も増えており、やや良くなっている。
	□	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格の値上げ圧力が強く、対応に苦慮している。価格転嫁した場合、現在の受注量を維持できるか予想ができないため、現状維持の足踏み状態である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・部品が入らず、どんな部品でも3～4か月待ちの状況である。また、毎月のように部品価格がどんどん値上がりしていて、かなり状況として厳しくなっている。同業者に話を聞いても、「年内は何とか部品は持つが、来年の分がどうなることやら」という感じである。自動車関係も半導体等がなくて製造が止まっているが、製造業全体が止まるような気がしている。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この2～3か月、取引先の販売や受注量は若干増えており、今月も余り変化がない。

	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・天候も涼しくなり、冬物家電、こたつ、電気カーペット、寝具等、計画どおりの物量を確保している。一部、海外の新型コロナウイルス禍によるコンテナ便の入荷遅れもあり、予定がずれている。燃料価格高騰もあり、利益が少し薄くなっている。
	□	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言解除により、年末に向けた販促広告依頼が少しは出てきているものの、まだ件数は伸びてこない。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・長い新型コロナウイルスの影響下で、低め安定というような感じで、余り変わっていない。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・一時期よりは、全般的に良くなってきている。
	□	その他サービス業【情報サービス】（経営者）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除されてから、引き合い等の動きに変化がみられる。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車組立ラインの稼働停止の影響が、非常に大きく出ている。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大のため延期になっていた清掃や管理業務が中止となり、売上が減少している。
	▲	経営コンサルタント	それ以外	・緊急事態宣言等による自粛要請が一段落して、地域の雰囲気としては一応の安ど感が広がっているようにみえる。商店街や街なかの人出にも動きが出てきているが、個人や企業ごとに受け止め方は様々で、地域全体の経済活動の活発化にはもう少し時間が掛かる。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の半導体不足や東南アジアのロックダウンによる部品調達不足が、依然として続いている。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業である。現与党政権誕生後は公共工事は順調に推移している。公共工事は前期は災害復旧工事受注があったため、今期は前年比86%の発注である。当社も前期比10%減の受注で厳しいが、今後の発注に期待している。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・建設業や製造業を中心に、求人数が回復傾向にある。
	○	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・サービス業の採用数が増加しているため、やや良くなっている。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・衣料品等は、多少寒さが厳しくなってきたから動きが出るのではないかと。生鮮食料品、スーパー等はパートを中心とした募集傾向が多くみられる。製造もどちらかといえば食品関係の募集が段階的に増えつつある。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・現地の新型コロナウイルス感染拡大による海外工場閉鎖により、部品調達ができず製造ラインを停止していた管内の工場では、状況が回復し求人申込みがある。一方で、東南アジアから半導体等の部品が納入されない自動車メーカーでは、受注があるものの作業できない状態のため、雇用調整助成金の申請をしている事業所もある。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・8月から緊急事態宣言発出により時短要請を受けた飲食店が休業しており、9月休業の雇用調整助成金の申請が増えている。
	□	学校【専門学校】（副校長）	求人数の動き	・求人状況は分野によって、前年より多くの求人数の分野がある一方で、逆に少ないところもある。
	▲	—	—	—
×	*	*	*	